

Sat. Oct 28, 2023

Room A

Tutorial Session

空間情報システムから空間知能システムへ / GIS・
AIのコンバージェンス ハンズオン

Chair: Wanglin Yan (Keio University), Koji Katayama (National
Graduate Institute for Policy Studies), Akihiro Oba (Chuo
University), Eduardo Fukui (Clean Green Asset Management)
10:40 AM - 12:20 PM Room A (C-203 2nd floor of New Bldg.
C)

Room B

Tutorial Session

Metashapeによる空中写真からの DSM・3Dモデル生
成

Chair: Takashi Kirimura (Kyoto Sangyo University)
8:40 AM - 10:20 AM Room B (C-303 3rd floor of New Bldg. C)

Tutorial Session

空間情報システムから空間知能システムへ / GIS・AIのコンバージェンス ハンズオン

Chair: Wanglin Yan (Keio University), Koji Katayama (National Graduate Institute for Policy Studies),
Akihiro Oba (Chuo University), Eduardo Fukui (Clean Green Asset Management)

Sat. Oct 28, 2023 10:40 AM - 12:20 PM Room A (C-203 2nd floor of New Bldg. C)

近年ChatGPTで代表されるように生成系AI(Artificial Intelligence)技術が目覚ましく発展し、GISにも波及し始めている。「Everything Happens Somewhere」(ITU)と言われるように、GISの新たなAI時代を向かっている。国際電気通信連合 (ITU) のAI for GoodプラットフォームではGeoAI が主要テーマとして展開し、GeoAI Challengeを始めている。米国地理学会 (American Geographical Society) やUCGIS (GIS大学コンソーシアム) にGeoAI Initiativeが設置されている。バファロー大学にはGeoAI Labが設置されている。国内において産業界ではAI for GISやGIS for AIの研究が盛んに行われて、産業応用が急速な展開を見せている。こうした動きの中、本学会も2023年4月よりGeoAI分科会を設置し、調査研究を始めている。2023年7月25日に第一回GeoAI Open Talks「AIによって拡張・深化するGEO」を開催し、多数の参加者のもとで活発な議論を展開した。このセッションはそこでの議論を発展し、学術研究や産業応用を代表するパネリストからGeoAIに関するデータ、ツール、基盤モデル、標準、社会応用をさらに議論し、GeoAIの可能性、課題、発展方向を検討する。

Tutorial Session

Metashapeによる空中写真からの DSM・3Dモデル生成

Chair: Takashi Kirimura (Kyoto Sangyo University)

Sat. Oct 28, 2023 8:40 AM - 10:20 AM Room B (C-303 3rd floor of New Bldg. C)

国土地理院が地図・空中写真閲覧サービス上で公開している空中写真データには、古いものでは戦前の陸軍撮影のものが含まれ、様々な時代の日本の国土の姿が写された空中写真をダウンロードできる。これらの空中写真データを活用して、DSMや3Dモデルなどを生成していくことで、PLATEAUでは把握できない、過去の時代の3次元的空间解析が可能になる。そこで、本ハンズオンセッションでは、フォトグラメトリソフトウェアであるMetashapeを用いて、国土地理院が公開している、400dpiの高解像度空中写真データから、位置精度の高いDSM、オルソ写真、3Dモデルなどを生成する作業手順の解説を行うとともに、得られたデータの解析方法やソフトウェアの使用方法などについての情報共有も行いたい。
